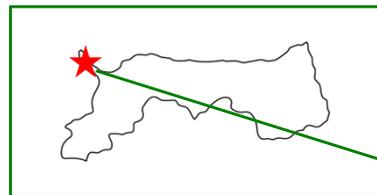


背景・課題

鳥取県境港市は弓ヶ浜半島の先端に位置し、標高2m内外の平坦な地形で周囲に隔てるものが少ないため、農地以外に太陽光発電施設が比較的多く設置されている。しかし、多くの施設が固定価格買取制度を活用した売電を行っており、現在、地域で電力の脱炭素化に取り組もうとする事業者が再エネ電力を供給することができていない。

一方、農業分野では、砂地の土壌条件を生かして特産の白ネギなど畑作物の栽培が盛んに行われているが、地形の影響から農作物の倒伏や乾燥、チップバーンなど、強風等への対策が課題となっている。



境港市

構成員

鳥取県、境港市、農業者、発電事業者

品目

白ねぎ 等

成果目標

- 目標年度：令和5年度
- 地域における営農型太陽光発電の効果的なモデル事例を作成

取組の内容

調達

再エネ電力の供給と農業分野での強風対策を両立した営農型太陽光発電モデルを作成するため、先進事例調査と推進会議を実施する。

先進事例調査では福島県二本松市を視察し、垂直両面パネルの設置手順や農作物の生育状況等を確認、関係者で共通認識を深める。

推進会議では、協議会構成員に加え、営農型太陽光発電の知見を有する専門家、地域の農業者団体・農業委員会等を参集する。先進事例調査の結果や各種試験結果等を踏まえ、白ネギ等の営農型太陽光発電への適性や、垂直両面パネル間の距離や設置場所の適地、発電電力を地域内で利用する仕組み等の検討に取り組む。

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					[活動期間]							



●先進事例調査（福島県二本松市）



●推進会議

普及に向けた取組

R5年度中に鳥取県西部地区に適した営農型太陽光発電モデルを作成する。R6年度以降、当該モデルに基づく営農型太陽光発電設備の設置を検討し、地域への普及を図っていく方針である。

問い合わせ先

鳥取県西部地区営農型発電導入検討協議会 TEL：0859-32-7118  
（事務局：山陰酸素工業株式会社）